

平成25年度 公益財団法人山形県体育協会 事業報告

1 スポーツ振興に関する事業

(1) 生涯スポーツの推進

- ①地域体育協会の活性化を図った。
 - ・地区体育協会連絡協議会への活動支援と連携（8地区）
 - ・市町村体育協会との連携
- ②総合型地域スポーツクラブの活性化を図った。
 - ・総合型地域スポーツクラブへの活動支援
 - ・クラブリーダーの育成

(2) スポーツ指導者の養成と活用

- ①スポーツ指導者養成講習会を開催した。
- ②県スポーツ指導者研修会を開催した。
 - 期日：平成25年10月26日（土）
 - 場所：県総合運動公園 2階大会議室
 - 内容：講演Ⅰ「傷害予防のための体幹バランストレーニング」
コバメディカルジャパン 木場克己 氏
 - 講演Ⅱ「潜在能力を引き出す指導法」
清水隆一コーチングカレッジ 清水隆一 氏
 - 講演Ⅲ「アンチ・ドーピングを考える」
県体育協会スポーツ指導員 池田めぐみ氏
- ③県スポーツ指導者連絡協議会との連携を図った。

(3) 普及事業の推進

- ①県縦断駅伝競走大会への支援を行った。
- ②県少年少女スポーツ交流大会への支援を行った。
- ③県高等学校体育連盟・県中学校体育連盟への活動支援と連携を図った。

(4) 競技団体活動の支援

国体正式競技種目以外の17競技に対して活動支援事業を行った。

(5) やまがた樹氷国体の開催

第69回国体冬季大会スキー競技会「やまがた樹氷国体」成功を目指し、国体推進課等との連携を図った。

(6) 企業スポーツ活動への支援

企業スポーツの育成と活性化を図るため、「山形県企業スポーツ振興協議会」へ支援を行った。

(7) 顕彰に関する事業

本県スポーツの発展に貢献した個人・団体に対し、本会表彰規程に基づき、次の表彰を行った。（山形県スポーツ賞・山形県体育協会表彰授賞式として開催）

- ①殊勲賞35名・8団体
- ②奨励賞20名・3団体
- ③功労賞26名・ライオンズスポーツ賞4名
- ④感謝状10名
- ⑤特別賞1名（冬季五輪に県内高校生初として出場 ウィリアムソン師円 選手）

(8) 広報に関する事業

- ①ホームページの充実を図り、体協活動の積極的な情報を提供した。
 - ・体協活動の発信
 - ・協賛企業・会員の募集等
- ②県体協機関紙「スポーツ山形」98・99号を発行した。

③山形県スポーツ少年団設立50周年記念誌を発行した。

(9) 山形県スポーツ会館管理事業

本県スポーツ団体の拠点施設として、適切な管理運営を行った。

2 少年スポーツの振興に関する事業

ジュニアスポーツの活性化と青少年の健全育成を目標に事業を推進した。

(1) スポーツ少年団の普及と活動の充実

①指導者の育成と指導者組織の充実を図った。

有資格者 3,997名 (H24:3,981名)

②関係機関・団体との連携の充実を図った。

③リーダーの養成と活動環境の充実を図った。

④各種交流事業の充実を図った。

山形県スポーツ少年大会 中止 (H24:68名)

東北地区スポーツ少年大会 6名参加 (H24:8名) 8月1日～4日

全国スポーツ少年大会 9名参加 (H24:9名) 7月26日～29日

⑤各専門委員会活動の活性化を図った。

企画委員会 4回開催

普及委員会 1回開催

活動委員会 1回開催

指導育成委員会 3回開催

⑥少年少女交流大会を開催した。

10月6日(主会期) 16種目 4,506名参加 (H24:4,660名)

(2) 青少年の健全育成

①加盟団体があらゆるスポーツ活動の機会を通して、「フェアプレー精神」の高揚を図った。

②体罰等の根絶について指導徹底を図った。

③環境に配慮するスポーツマンの育成を図った。

(3) 山形県スポーツ少年団設立50周年記念事業

期日：平成25年11月16日(土)

場所：山形国際ホテル

内容：記念講演「夢を夢で終わらせない ～Road to Dreams～」

日本スポーツ少年団本部長 坂本祐之輔 氏

式典 「表彰式など」

記念パーティー

3 競技力の向上に関する事業

全国大会及び世界で活躍する選手の育成と支援を図った。

(1) 国民体育大会及び東北総合体育大会に係る事業

①第68回本国体県予選会・69回国体冬季大会県予選会を開催した。

第68回本国体県予選会

・本大会(主会期) 7月12日(金)～14日(日) (県内各地)

競技5, 495名参加(67回:5,498名)

69回国体冬季大会県予選会

・アイスホッケー 11月3日(日)～4日(月) (ヒルズサンピア山形)

- 52名参加 (68回: 58名)
- ・スケート 12月14日(土) (山形市総合スポセン)
- 21名参加 (68回: 19名)
- ・スキー 平成26年1月16日(木)～25日(土)
- ジャイアントスラローム(蔵王温泉スキー場)
- 113名参加 (68回: 101名)
- クロスカントリー (坊平高原クロカンコース)
- 92名参加 (68回: 66名)
- ジャンプ・コンバインド(蔵王ジャンプ場、坊平高原クロカンコース)
- 10名参加 (68回: 15名)
- ②第40回東北総合体育大会を本県で開催した。
- ・主会期 8月23日(金)～25日(日) (県内16市町、宮城県登米市)
- 33競技721名参加 (39回: 705名)
- ③第68回本国体・69回国体冬季大会に参加した。
- 第68回本国体
- ・主会期 9月28日(土)～10月8日(火) (東京都下)
- 32競技、公開競技3競技 496名参加 (67回: 497名)

<第68回国民体育大会成績>

天皇杯得点974, 5点 (67回: 883点) **第19位** (67回: 28位)

皇后杯得点508, 5点 (67回: 480点) **第23位** (67回: 27位)

○第69回国体冬季大会

- ・スケート平成26年1月28日(火)～2月2日(日) (栃木県日光市)
- 28名参加 (68回: 28名参加)
- ・アイスホッケー 1月28日(火)～2月2日(日) (栃木県日光市)
- 参加なし
- ・スキー 平成26年2月21日(金)～24日(月) (やまがた樹氷国体)
- ジャイアントスラローム(蔵王温泉スキー場ハーネンカムコース)
- スペシャルジャンプ(蔵王ジャンプ台)
- コンバインド(蔵王ジャンプ台、坊平高原クロカン競技場)
- クロスカントリー(坊平高原クロカン競技場)
- 92名参加 (68回: 84名)

<第69回国民体育大会冬季大会成績>

天皇杯得点172点 (68回: 132点) **第5位** (68回: 9位)

皇后杯得点30点 (68回: 32点) **第24位** (68回: 32位)

- ④強化環境の整備を図るために、強化コーチングスタッフ及び強化指定選手の指定を行なった。 408名 (監督・コーチ85名、選手323名)

(2) スポーツ医科学支援体制の充実

- ①国民体育大会・東北総合体育大会へ帯同ドクター・帯同トレーナーの派遣を行い、医科学的サポートを行なった。
- ②アンチ・ドーピング啓発を行った。
- ③日本体育協公認スポーツドクター及びスポーツプログラマー・アスレティックトレーナーの資格取得促進と活用を図った。
- ④「スポーツ医科学活動報告書」を作成した。

(3) 優秀指導者・選手確保事業

優秀指導者・選手をスポーツ指導員及びスポーツ技術員として確保し、本

県の競技力の向上を図った。

(4) 競技強化支援事業

競技スポーツの普及・強化を図るために、スポーツ関係団体が実施する事業を支援した。

(5) 国際競技大会出場監督・選手への激励

ソチオリンピック等、国際競技大会出場監督・選手へ延38名に対して激励を行った。

(6) スポーツタレント発掘事業への支援

将来のトップアスリート育成を計画的に実施する「スポーツタレント発掘事業」への取り組みと支援を行った。

4 財政の確立と組織体制の充実

(1) 財政基盤の確立

将来を見通した計画的な運営を行うとともに、賛助会員の拡大等を精力的に推進した。

《参 考》

1 開催会議等

- | | |
|---------------------------|----------|
| ① 県体協理事会 | 4回 |
| ② 県体協評議員会 | 3回 |
| ③ 県体協各専門委員会 | 委員会毎随時開催 |
| ④ 国民体育大会監督会議 | 1回 |
| ⑤ 国体県予選会実行委員会・運営委員会 | 1回 |
| ⑥ 少年少女スポーツ交流大会実行委員会・運営委員会 | 3回 |

2 出席会議等

- | | |
|-------------------------------|----|
| ① 日本体育協会理事会 | 2回 |
| ② 日本体育協会評議員会 | 2回 |
| ③ 日本体育協会加盟団体事務局長会議 | 1回 |
| ④ 都道府県体育協会連合会総会 | 1回 |
| ⑤ 都道府県体育協会連合会事務局長研修会（東地区：北海道） | 1回 |
| ⑥ 都道府県体育協会事務局職員研修会 | 1回 |
| ⑦ 東北六県体育関係者会議（東北6県体育協会連絡協議会） | 2回 |
| ⑧ スポーツ安全協会担当体育協会事務局連絡協議会 | 2回 |